

ドアクローザ取扱説明書

お願い

1.取付をされる業者の皆さまへ

本書は必ず御施主様、又は御入居者様へお渡し下さい。

2.御施主様・御入居者様・管理者様へ

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

製品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読み下さい。

いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

1.ドアクローザの機能説明とお願い

1)この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。

季節の温度変化や窓等の開閉によって、誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますので注意して下さい。

ドアの閉じる速度は、閉扉速度調整バルブによりコントロールすることが出来ますので、取付説明書に記載した方法で調整して下さい。

又、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押ししたり引いたりしないで下さい。強制的な閉扉操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。

2)ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換依頼をして下さい。油漏れは放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。

3)ドアクローザは分解、改造しないで下さい。中の部品が飛び出して思わぬ怪我をしたり、正しく組み立て直す事が出来なくなります。

2.お手入方法

1)本体及びアームなどの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検して下さい。緩んでいた場合はネジを締め直して下さい。

2)腐蝕予防のために本体及びアームは時々掃除をして下さい。又、結露が生じた場合は乾いた布で拭いて下さい。

3.異常を感じられた際の対処方法 (調整が難しい場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様にお問い合わせ下さい。)

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速く、又は遅くなった	季節の温度変化など	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に交換依頼願います。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けて下さい。
	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に交換依頼願います。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整バルブ	ラッチング調整方法を参照願います。
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった (ストップ付)	ストップネジの緩み	ストップ装置	ストップ角度調整方法を参照願います。
ドアがスムーズに閉まらなくなったたり異音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けて下さい。
	1,2速のバランスが悪い	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。

NEW★STAR 日本ドアエック製造株式会社

SINCE 1919
東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
(ニュースター東京ビル)
大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL(011)851-8255~6
北陸支店 / TEL(076)243-2120(代)
名古屋支店 / TEL(052)981-7531~2
福岡支店 / TEL(092)271-5491(代)

仙台営業所 / TEL(022)284-7501
静岡営業所 / TEL(054)238-2751
広島営業所 / TEL(082)877-1611~2
高松営業所 / TEL(087)843-1212~3

この製品は、ドアを自動的に閉じる為の機械です。
安全に長くご使用頂く為に、以下の「注意事項」をよくご理解頂き、正しくお取扱い下さい。

《注意事項》

1. 油が洩れるとドアが勢いよく速く閉まり、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。
本体に油のにじみや洩れが発生し、速度調整をしても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに修理、交換して下さい。
強制的な閉扉操作は油が洩れる等の不具合の原因になります。閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
2. 閉扉速度は調整バルブを左右に回し適正速度に調整して下さい。
緩め過ぎると油が洩れるので、調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。
※90°から閉まる迄の適正閉鎖時間は5~8秒です。(ドア幅が900mmの場合)
3. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
4. 水のかかる場所(プール、浴室、外部等)には使用しないで下さい。
5. 強風が吹いている時やドアを急に開閉すると、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。
開放限度角度以上に開くとドアや壁等の損傷、本機が破損しドアが転倒する大きな事故が発生する危険があります。
風の強い場所には、カタログ表示より1ランク上の品番をお使い頂き、風除室、戸当りの設置や一方開きにする等の安全措置を講じて下さい。
6. ドア及び金物にぶら下がって遊ばないように注意して下さい。
7. 吊金具により、開閉力は変わります。

《施工時のお願い》

1. ドアを安全に開閉出来るよう、枠及びドアの補強(裏板)は強固に設置して下さい。
2. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。主軸、アーム、トップピボットは折損事故につながるので削らないで下さい。
3. 金物の取付けネジは緩まないように、しっかりと締付けて下さい。

《安全管理の点検》

《注意事項》に加えて、次に示す項目を点検して下さい。

1. 金物がスムーズに作動するか。
2. 変形、破損、音鳴り、ガタツキがないか。
3. 取付ネジの緩み、脱落がないか。

商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から2年間。

(注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

(注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。

- ①施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ②製品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ③窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ④建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑤結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑥製品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など)、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
- ⑦製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他のの不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など)
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
- ⑨引渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

本書は必ずお施主様にお渡し下さい。

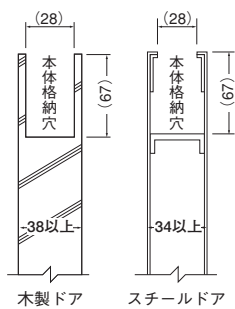
品番		ドア最大 開き角度	適用ドア寸法 DW×DHmm	ドア重量 kg以下
ストップなし	ストップ付			
CL-1611	CLS-1611	105°~180° (ストップ付は130°まで)	800×1800	30
CL-1612	CLS-1612		900×2100	45

品番				ドア最大 開き角度	適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg以下
標準取付		逆取付				
ストップなし	ストップ付	ストップなし	ストップ付			
CL-62N	CL-162N	CLU-62N	CLU-162N	90°~105°	900×2100	45
CL-63N	CL-163N	CLU-63N	CLU-163N		950×2100	65
CL-64	CL-164	CLU-64	CLU-164		1050×2400	85
CL-65	—	CLU-65	—	90°~105°	1200×2400	120
CL-66	—	CLU-66	—	90°	1800×2700	180
CL-62HN	—	CLU-62HN	—	95°	900×2100	45
CL-63HN	—	CLU-63HN	—		950×2100	65
CL-62NDS	—	CLU-62NDS	—	85°~100°	900×2100	45
CL-63NDS		CLU-63NDS			950×2100	65
CL-64DS		CLU-64DS			1050×2400	85

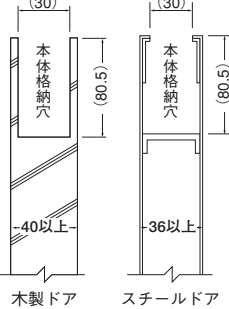
■ 最小ドア厚寸法 ()内は本体寸法

単位: mm

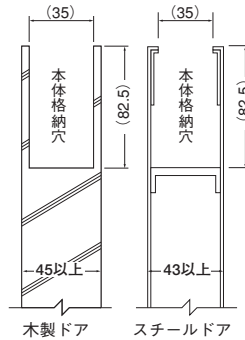
1611・1612



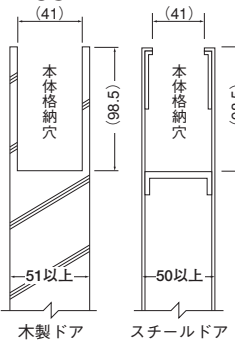
62N・63N



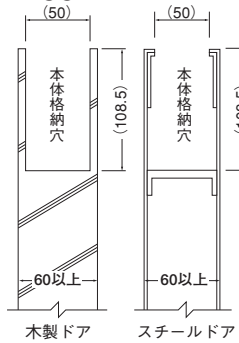
64



65



66



参考例:
板厚 t=0.8
補強板 t=1.6

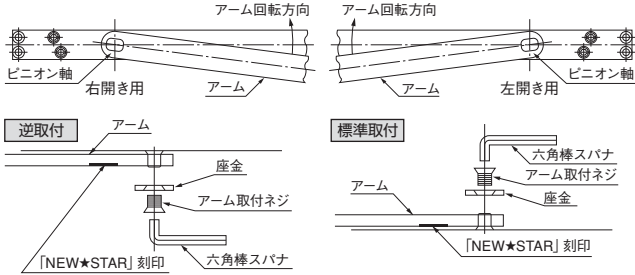
取付

1. ドアクローザ本体及びガイドレールの取付けは、取付図の通りして下さい。
尚、丁番・ピボットヒンジにより取付位置が異なります。
2. 切欠きの範囲はドアの吊方法及びドアの最大開き角度により、取付図参照の上決定して下さい。

■ アームの取付方法

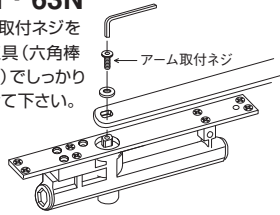
1611・1612

本体の角軸にアームをはめ込み、付属工具（六角棒スパナ）でしっかり締付けて下さい。
標準取付、逆取付にかかわらず、アーム表面の「NEW★STAR」刻印が下側になるように取付けて下さい。



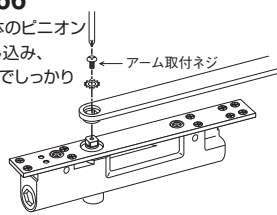
62N・63N

アーム取付ネジを付属工具（六角棒スパナ）でしっかり締付けて下さい。



64・65・66

ドアクローザ本体のピニオン軸にアームを差し込み、プラスドライバーでしっかり締付けて下さい。

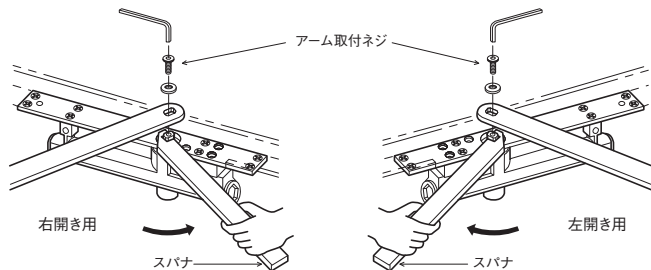


■ ドアクローザ本体の取付方法

アームを取付けた本体をドア上面（逆取付時は上枠）に取付けて下さい。このとき、第二速度調整バルブを全閉にしてアームを少し回転させた状態で、作業を行えば容易に取付けられます。
取付け後は第二速度調整バルブを適正な速度に再調整して下さい。調整方法については、閉扉速度調整方法をご参照下さい。

● 本体取付後にアームを取付ける場合（62N・63N）

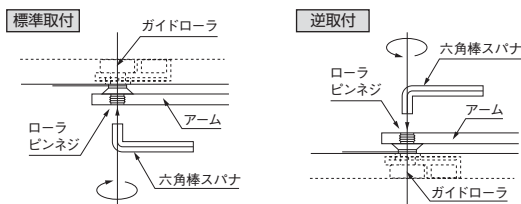
1. ドアクローザ本体のピニオン軸を付属工具（スパナ）で回転させ、その状態でアームをピニオン軸に差し込み、その後スパナをはずして下さい。
2. アーム取付ネジを付属工具（六角棒スパナ）でしっかり締付けて下さい。
(注) 付属工具（スパナ）は10セットに付き1本入れてあります。



■ ローラ（スライドシュー）とアームのセット方法

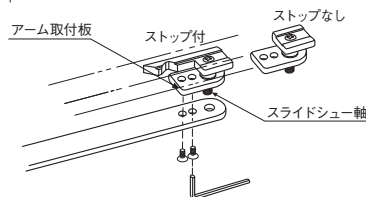
1611・1612

ローラをローラ入口よりガイドレールに挿入し、アームのネジ穴とローラピンネジの位置を合せ、付属工具（六角棒スパナ）で反時計方向にしっかり締付けて下さい。



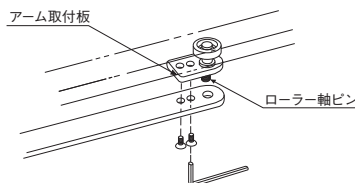
62N・63N・64

1. スライドシューをガイドレールに側面より挿入後、レールを枠、又はドア（逆付の場合）に取付ける。
2. アーム先端部の穴にスライドシュー軸を差し込み、付属工具（六角棒スパナ）にてアーム取付板をネジ止めする。



65・66

1. ローラーをガイドレールに側面より挿入後、レールを枠、又はドア（逆付の場合）に取付ける。
2. アーム先端部の穴にローラー軸を差し込み、付属工具（六角棒スパナ）にてアーム取付板をネジ止めする。



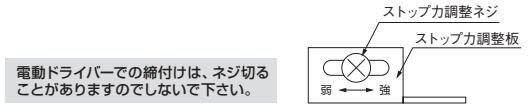
調整

■ ストップ角度の調整

ストップ金具は、取付図に従って調整範囲内の位置に取付けて下さい。
尚、ストップ角度は、吊金具によって異なりますので注意して下さい。

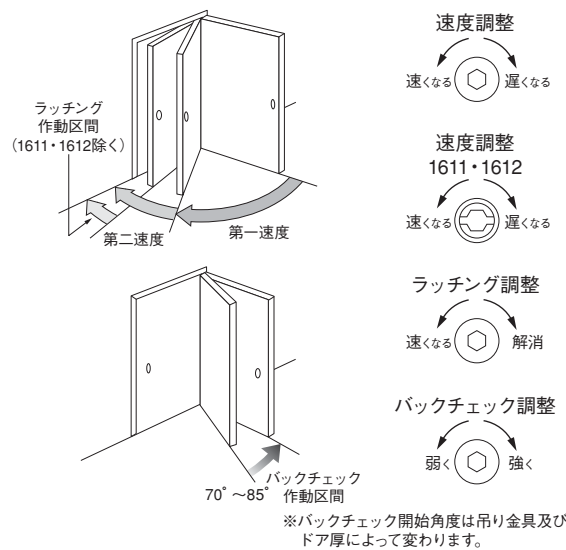
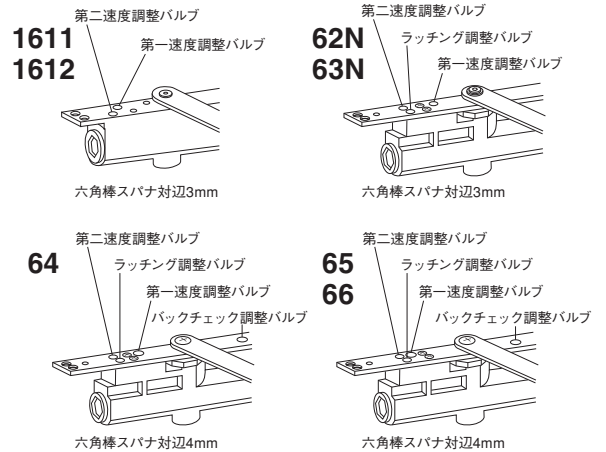
■ ストップ力の調整（1611・1612のみ）

1. ストップ力の強さは、出荷時「中間位置」にセットしています。
2. ストップ力を「強く」、又は「弱く」する場合
 - ドアをストップ位置から外した後、ストップ力調整ネジを緩めて下さい。
 - ストップ力調整板を矢印に従い、「強」、又は「弱」の方向に移動させて下さい。
 - ストップ力調整ネジを締付けて下さい。



■ 閉扉速度調整・バックチェック調整

製品出荷時に閉扉第一速度は調整してあります。
閉扉速度を調整する場合は、付属工具（六角棒スパナ）にて調整して下さい。



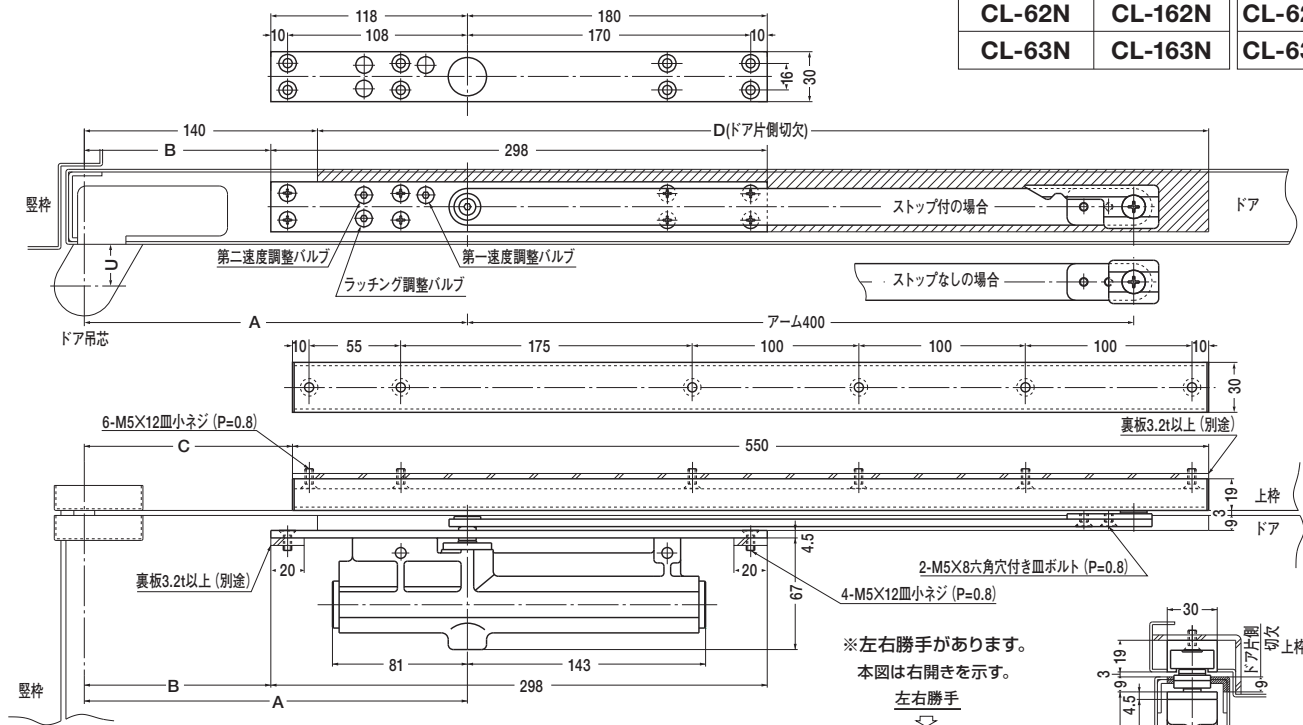
バックチェック機構

70°～85°で油圧が効き、クッションの作用をします。
ドア開き方向に強風や外圧が加わり、急激に開いても、壁やドアに損傷を与えません。

■ 施工時の確認事項

ガイドレール内に、施工時の切粉等が残っていた場合、ローラー、又はスライドシューの動きが円滑でなくなります。ガイドレール内を清掃して下さい。

ストップなし	ストップ付	ストップなし
CL-62N	CL-162N	CL-62NDS
CL-63N	CL-163N	CL-63NDS



※左右勝手があります。
本図は右開きを示す。
左右勝手
右 左

吊金具		取付位置				ドア最大 開き角度	ストップ角度	DS型 ドア開き角度	
様 式	ピボットヒンジ 丁 番	A	B	C	D				
持出吊り	1・8C-5・SUS3C 11・12・TO-120	持出寸法(U) 12~28mm	230	112	125	535	105°	105°, 100° 95°, 90°, 85°	100°, 95°, 90°, 85°
	116・6・7N SWD8C-5	—	255	137	140	550	95°	95°, 90° 85°, 80°	
中心吊り	C-110・TC-120 C-1・C-2	—	265	147	150	560	90°	90°, 85°, 80°	85°, 80°

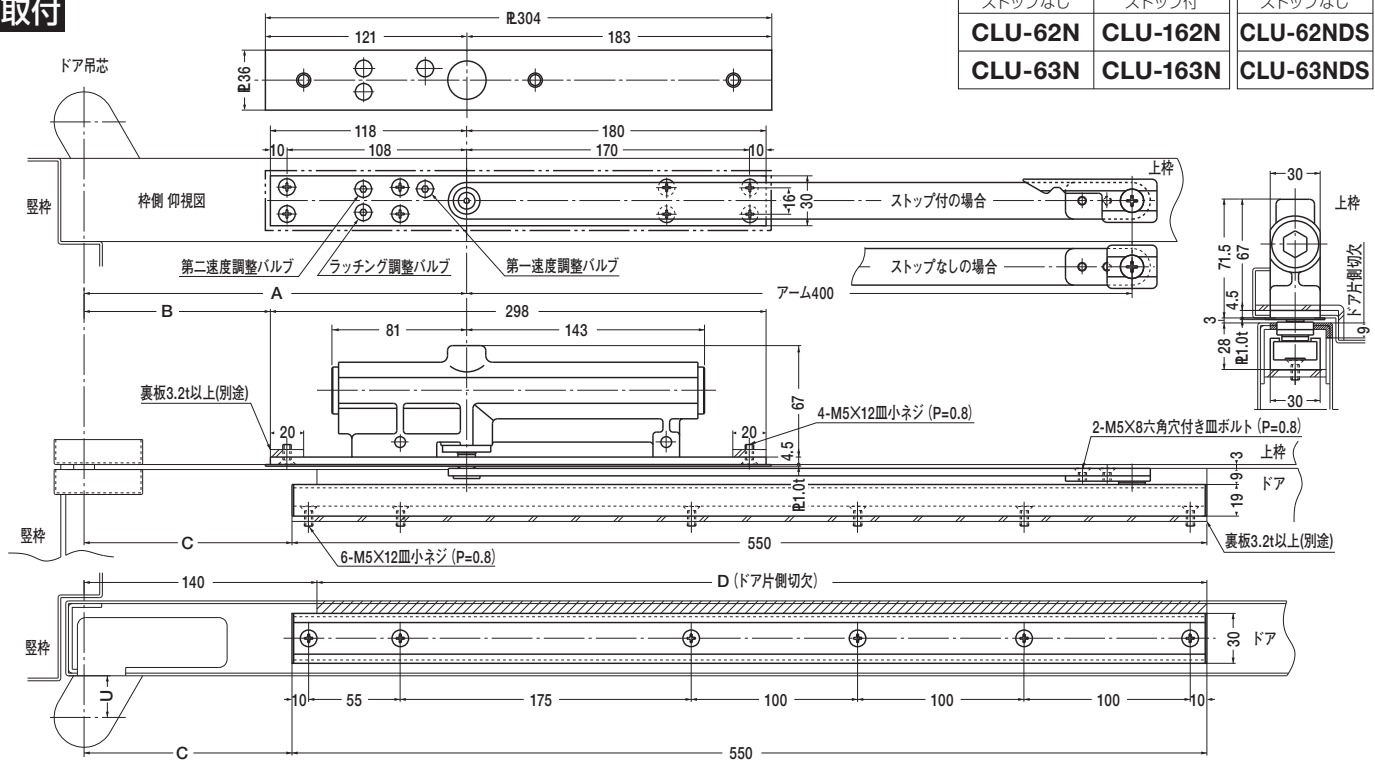
ストップ付 } 取付位置は
ストップなし } 同じです。
必ず戸当り (別途) を設置して下さい。

丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、ストップ角度・最大開き角度が変わります。ピボットヒンジを使用する場合は、ピボットヒンジの適用ドア寸法・重量を各品番にてご確認ください。

スチールドア 36以上
木製ドア 40以上

逆取付

ストップなし	ストップ付	ストップなし
CLU-62N	CLU-162N	CLU-62NDS
CLU-63N	CLU-163N	CLU-63NDS



※左右勝手があります。
本図は右開きを示す。
左右勝手
右 左

吊金具		取付位置				ドア最大 開き角度	ストップ角度	DS型 ドア開き角度	
様 式	ピボットヒンジ 丁 番	A	B	C	D				
持出吊り	1・8C-5・SUS3C 11・12・TO-120	持出寸法(U) 12~28mm	230	112	125	535	100°	95°, 90° 90°, 85°, 80°	95°, 90°, 85°, 80°
	116・6・7N SWD8C-5	—	255	137	140	550	90°	90°, 85°, 80°	
中心吊り	C-110・TC-120 C-1・C-2	—	265	147	150	560	90°	90°, 85°, 80°	85°, 80°

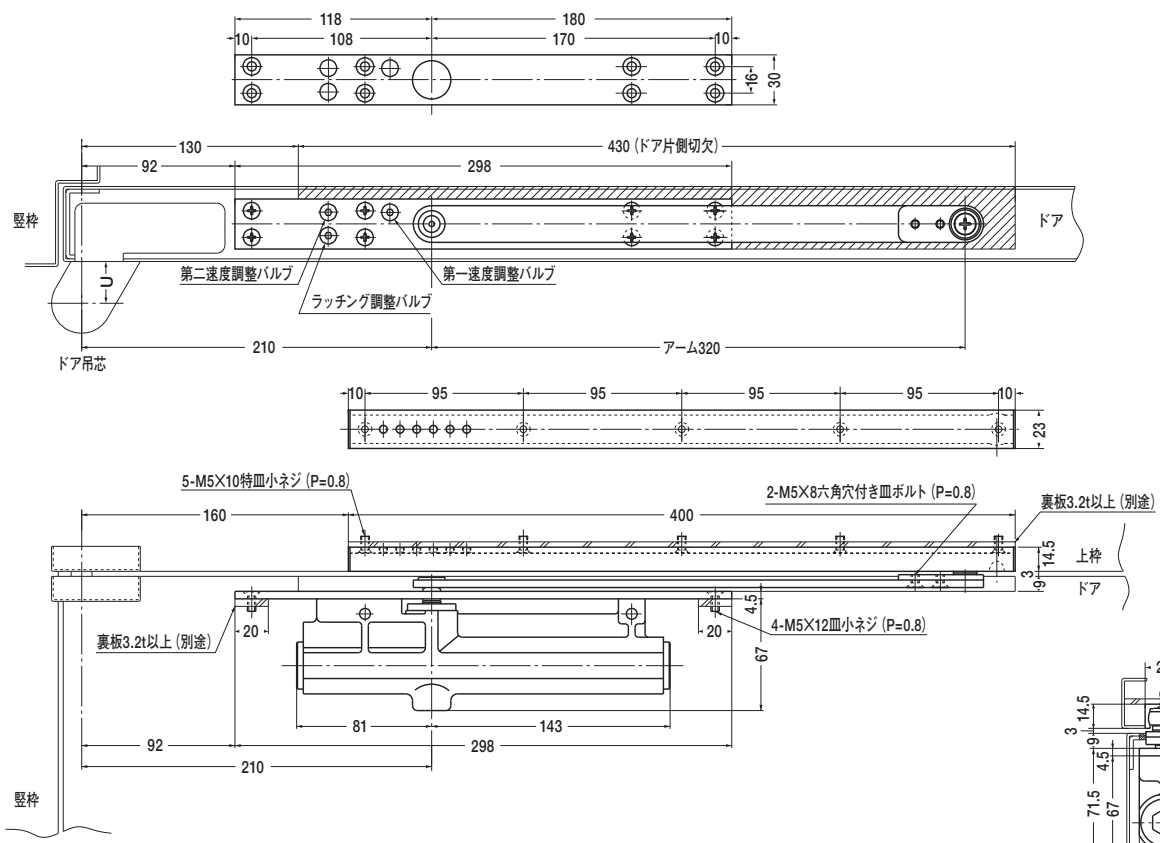
必ず戸当り (別途) を設置して下さい。

丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、ストップ角度・最大開き角度が変わります。ピボットヒンジを使用する場合は、ピボットヒンジの適用ドア寸法・重量を各品番にてご確認ください。

ストップ付 } 取付位置は
ストップなし } 同じです。

ストップなし
CL-62HN
CL-63HN

※左右勝手があります。
 本図は右開きを示す。



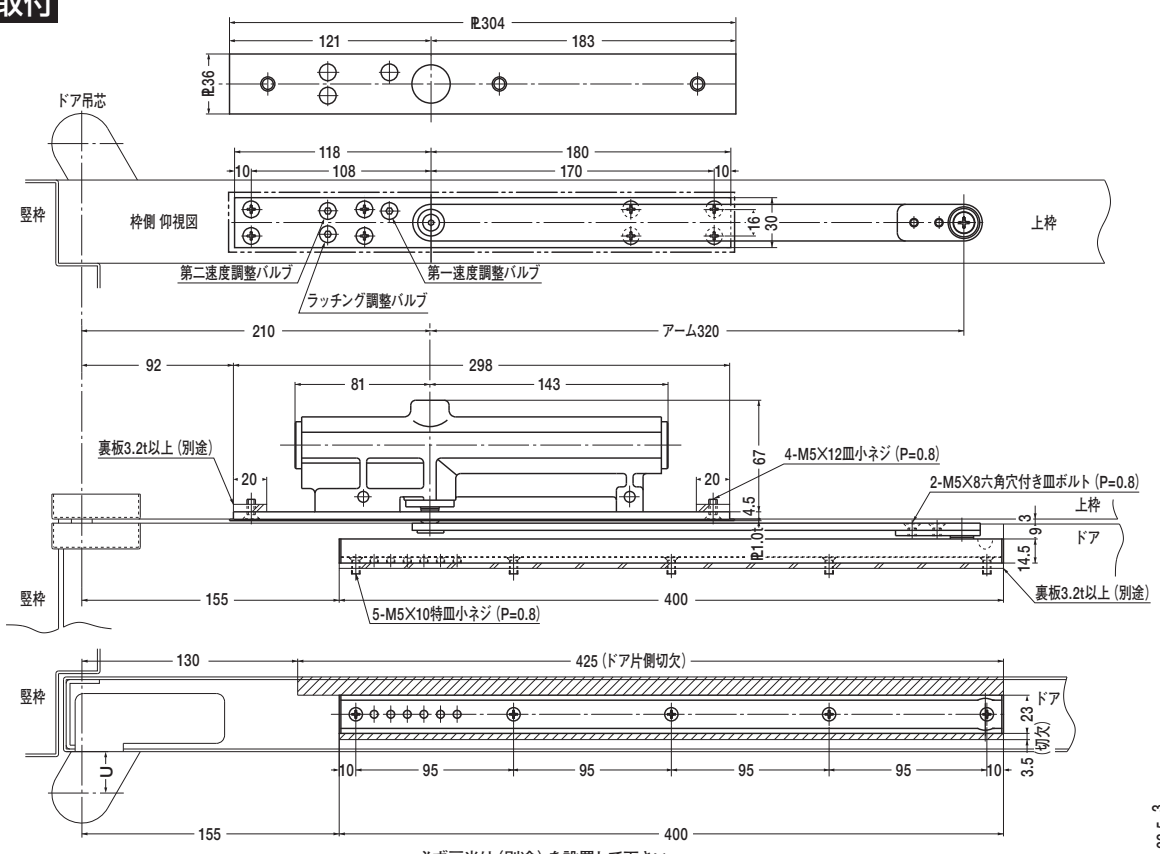
必ず戸当り (別途) を設置して下さい。
 丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、最大開き角度が変わります。
 ピボットヒンジを使用する場合は、ピボットヒンジの適用ドア寸法・重量を各品番にてご確認下さい。

吊金具		ドア最大開き角度
様式	ピボットヒンジ	95°
持出吊り	1・8C-5・SUS-3C 11	持出寸法 (U) 12~25mm

逆取付

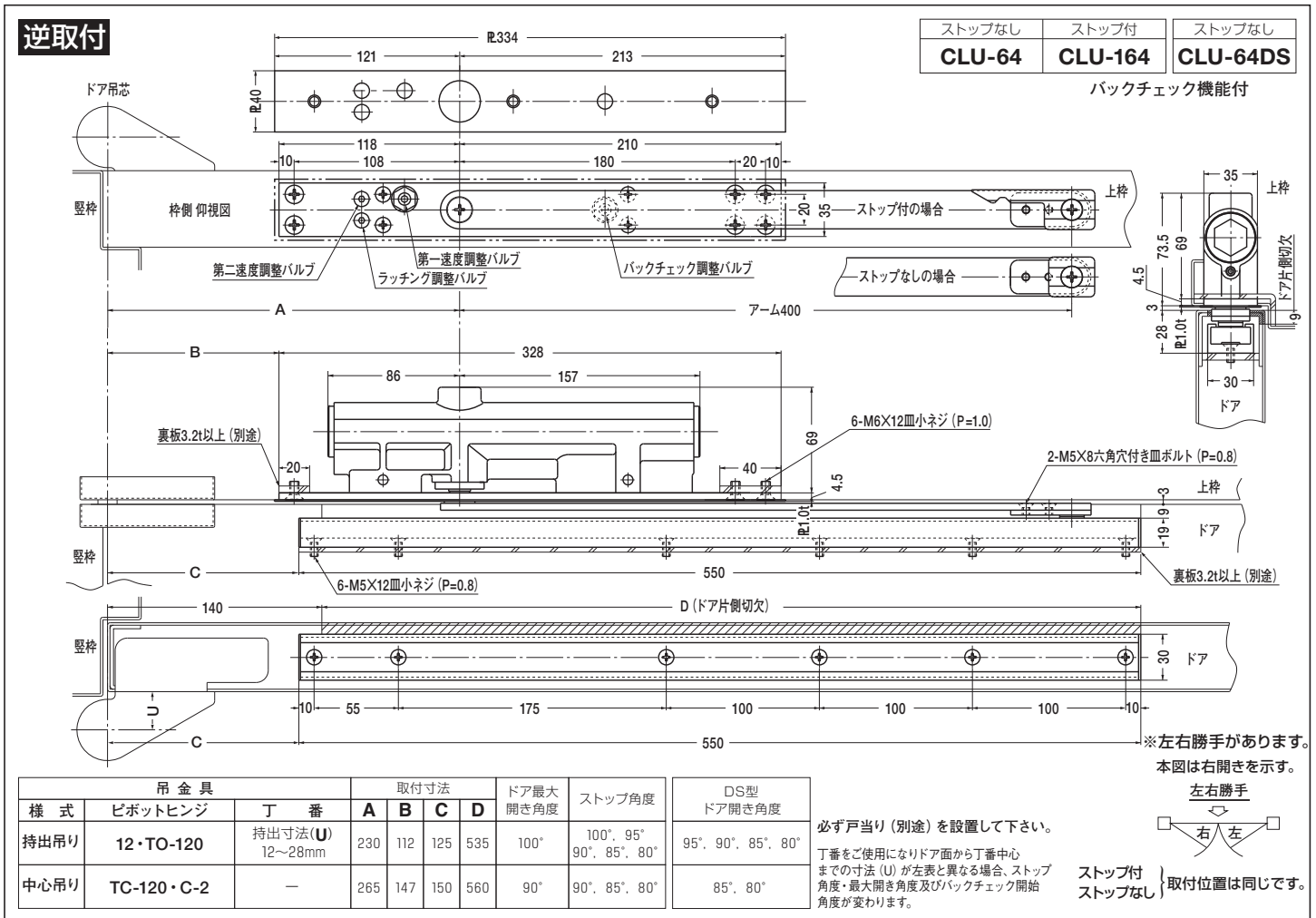
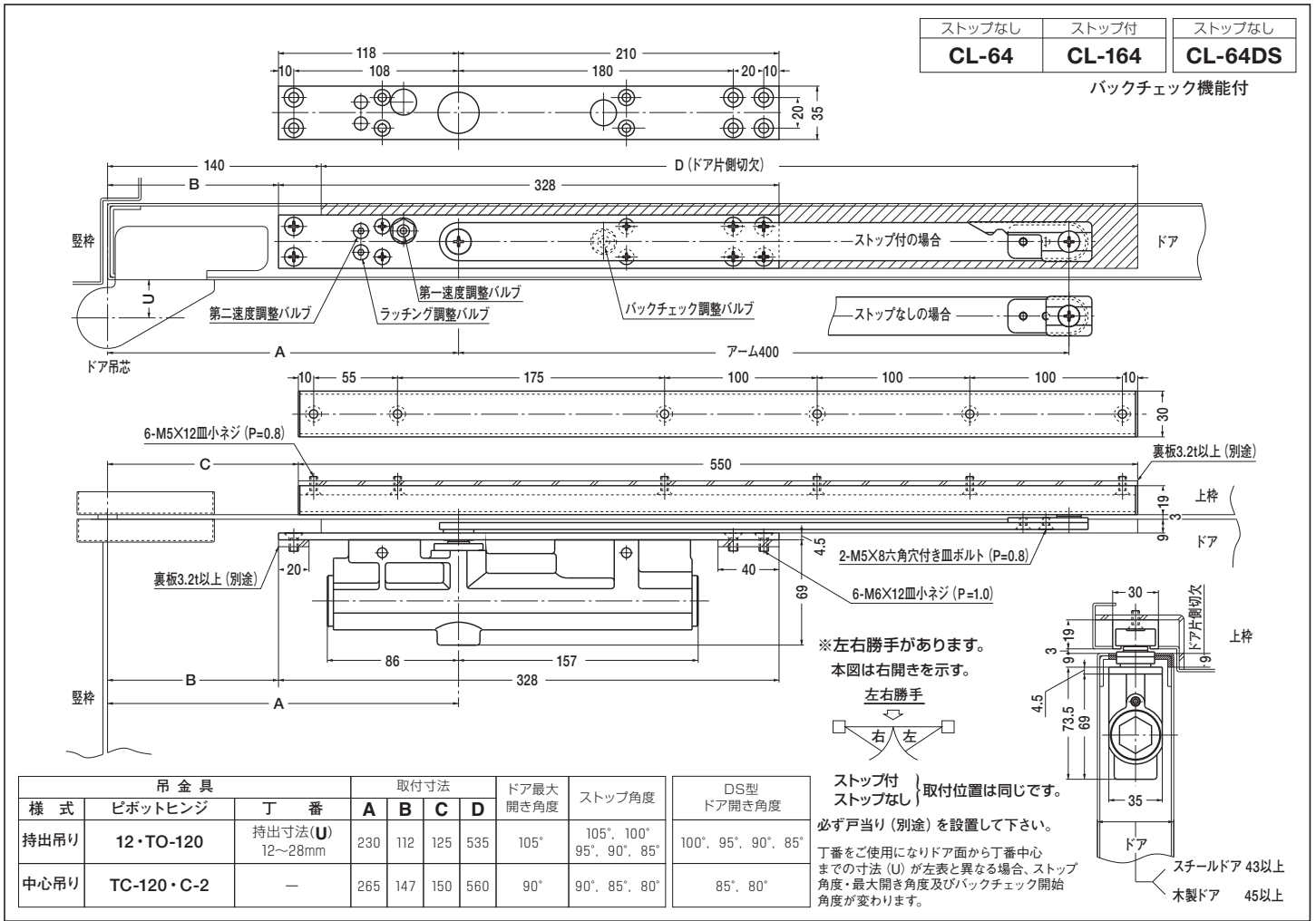
ストップなし
CLU-62HN
CLU-63HN

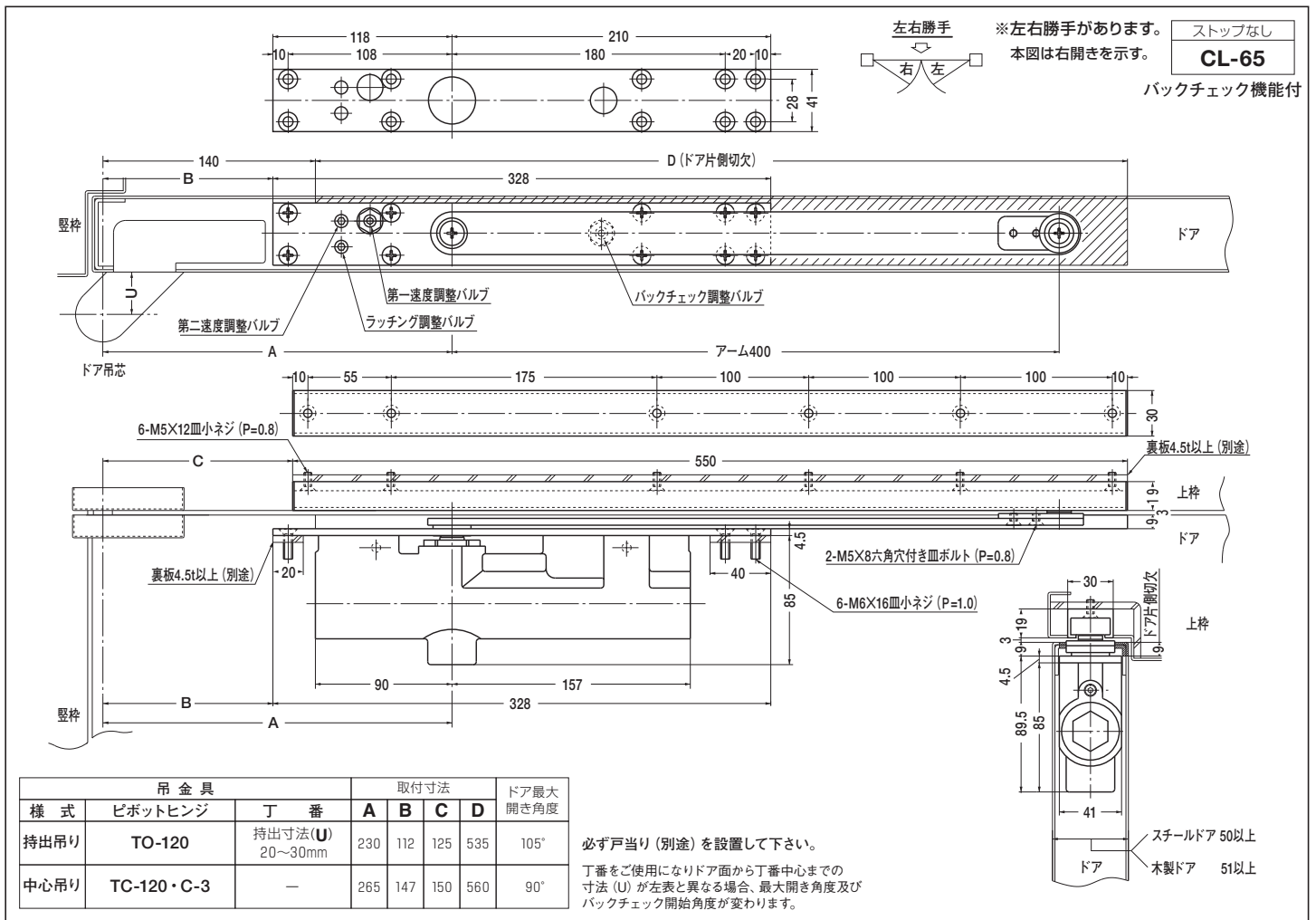
※左右勝手があります。
 本図は右開きを示す。



必ず戸当り (別途) を設置して下さい。
 丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、最大開き角度が変わります。
 ピボットヒンジを使用する場合は、ピボットヒンジの適用ドア寸法・重量を各品番にてご確認下さい。

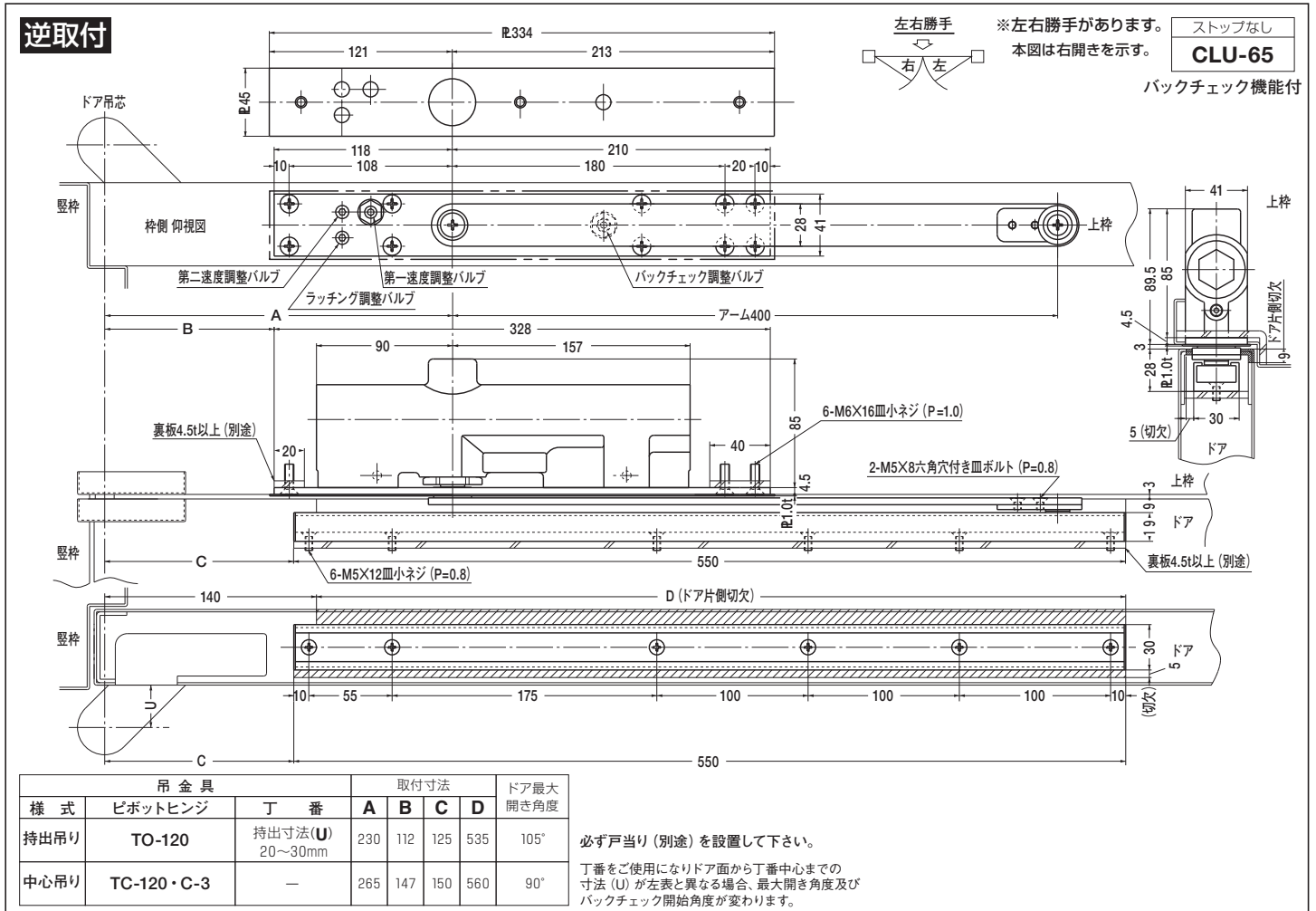
吊金具		ドア最大開き角度
様式	ピボットヒンジ	95°
持出吊り	1・8C-5・SUS-3C 11	持出寸法 (U) 12~25mm





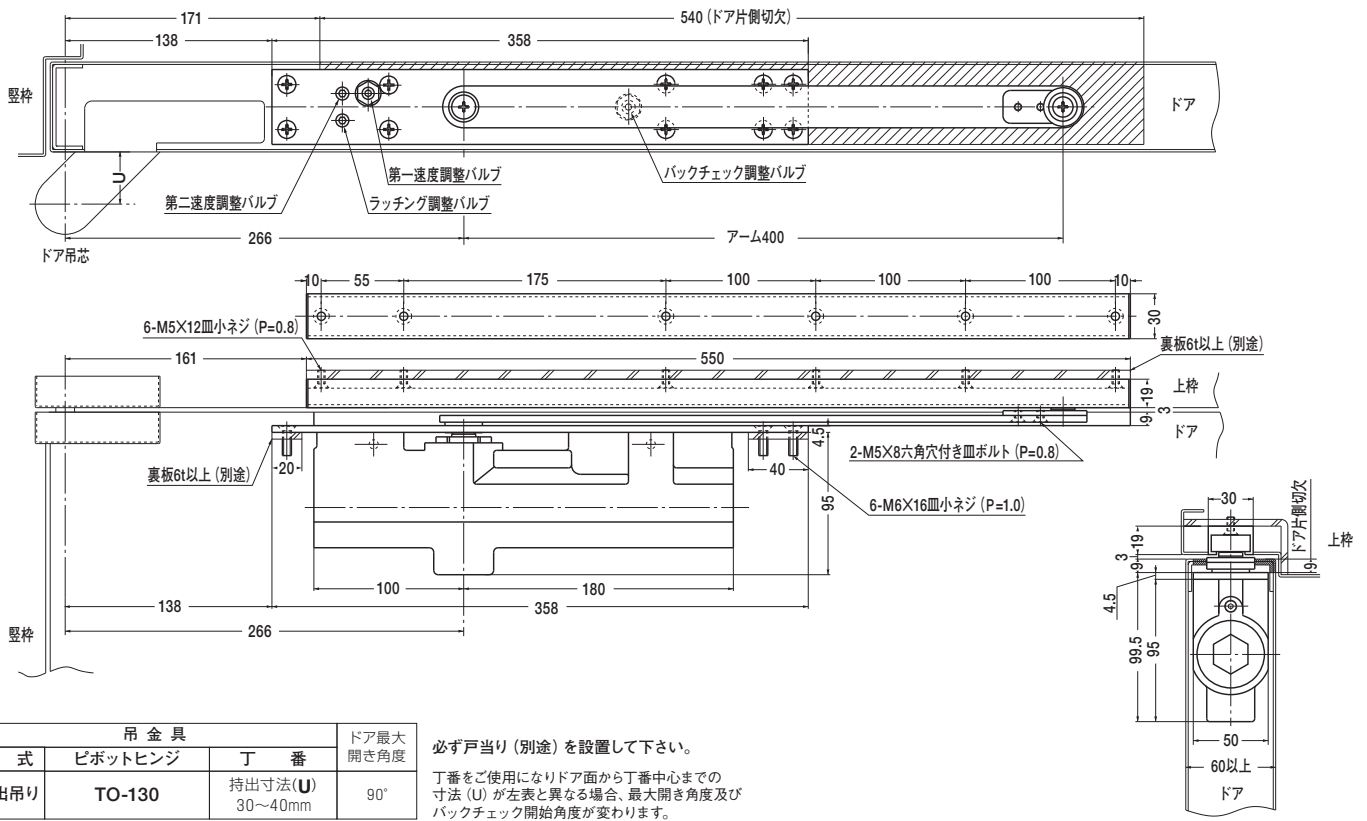
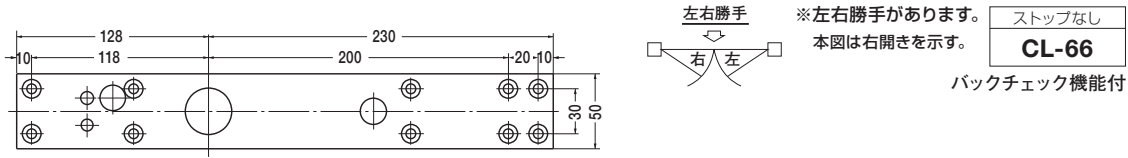
吊金具		取付寸法	ドア最大開き角度
様式	ピボットヒンジ		
持出吊り	TO-120	持出寸法(U) 20~30mm	230 112 125 535 105°
中心吊り	TC-120・C-3	—	265 147 150 560 90°

必ず戸当り(別途)を設置して下さい。
 丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法(U)が左表と異なる場合、最大開き角度及びバックチェック開始角度が変わります。



吊金具		取付寸法	ドア最大開き角度
様式	ピボットヒンジ		
持出吊り	TO-120	持出寸法(U) 20~30mm	230 112 125 535 105°
中心吊り	TC-120・C-3	—	265 147 150 560 90°

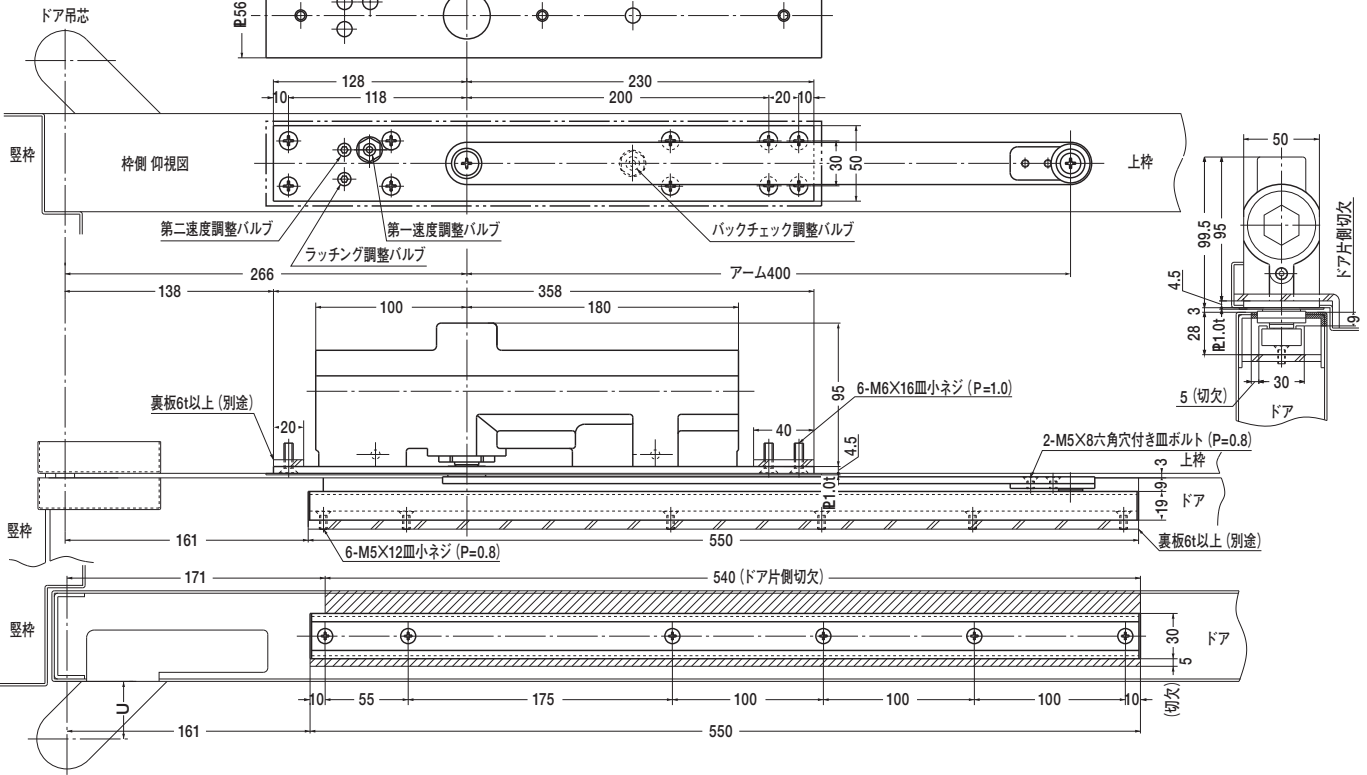
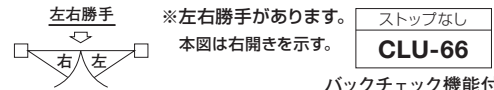
必ず戸当り(別途)を設置して下さい。
 丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法(U)が左表と異なる場合、最大開き角度及びバックチェック開始角度が変わります。



吊金具			ドア最大 開き角度
様式	ピボットヒンジ	丁番	
持出吊り	TO-130	持出寸法(U) 30~40mm	90°

必ず戸当り (別途) を設置して下さい。
丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、最大開き角度及びバックチェック開始角度が変わります。

逆取付

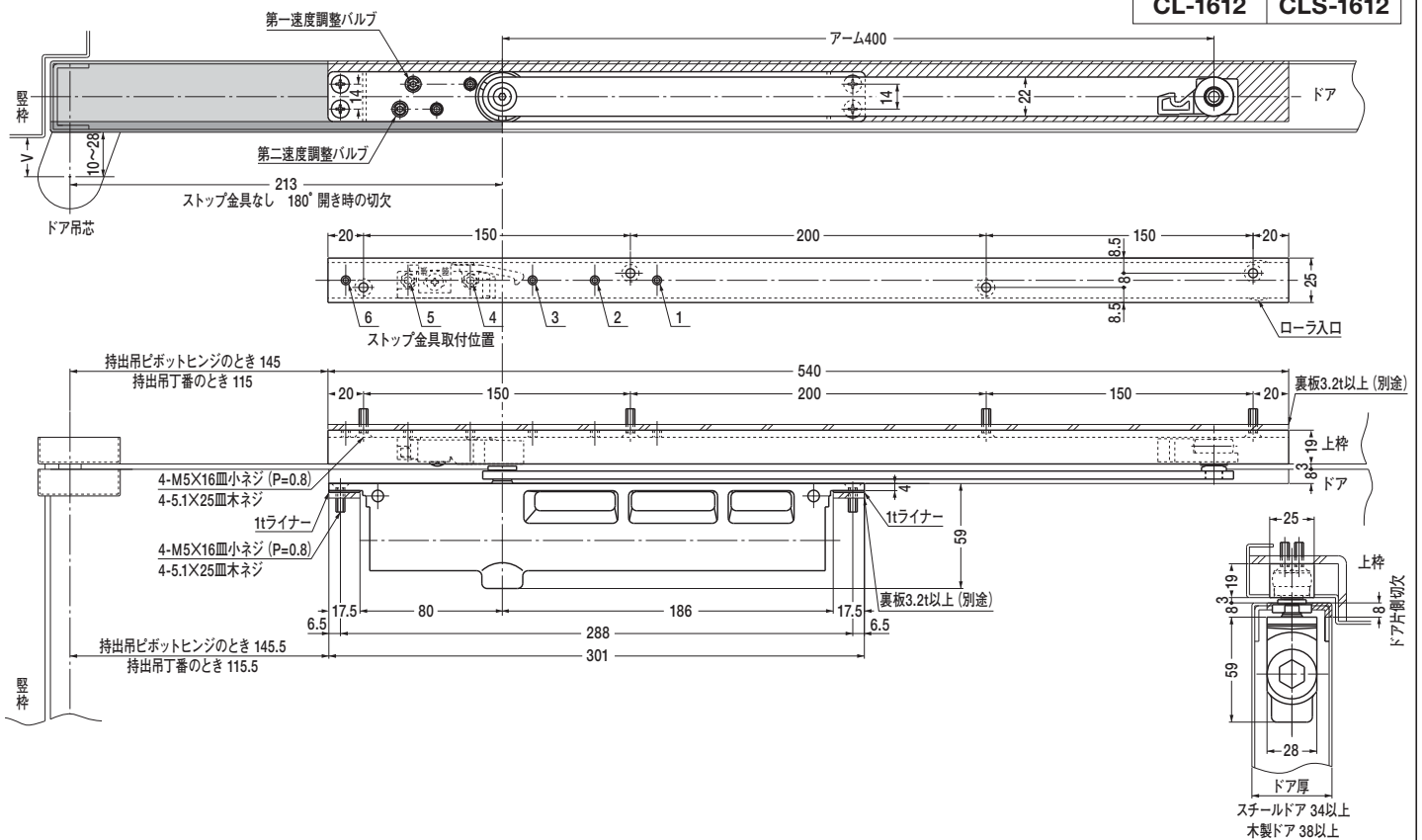


吊金具			ドア最大 開き角度
様式	ピボットヒンジ	丁番	
持出吊り	TO-130	持出寸法(U) 30~40mm	90°

必ず戸当り (別途) を設置して下さい。
丁番をご使用になりドア面から丁番中心までの寸法 (U) が左表と異なる場合、最大開き角度及びバックチェック開始角度が変わります。

標準取付

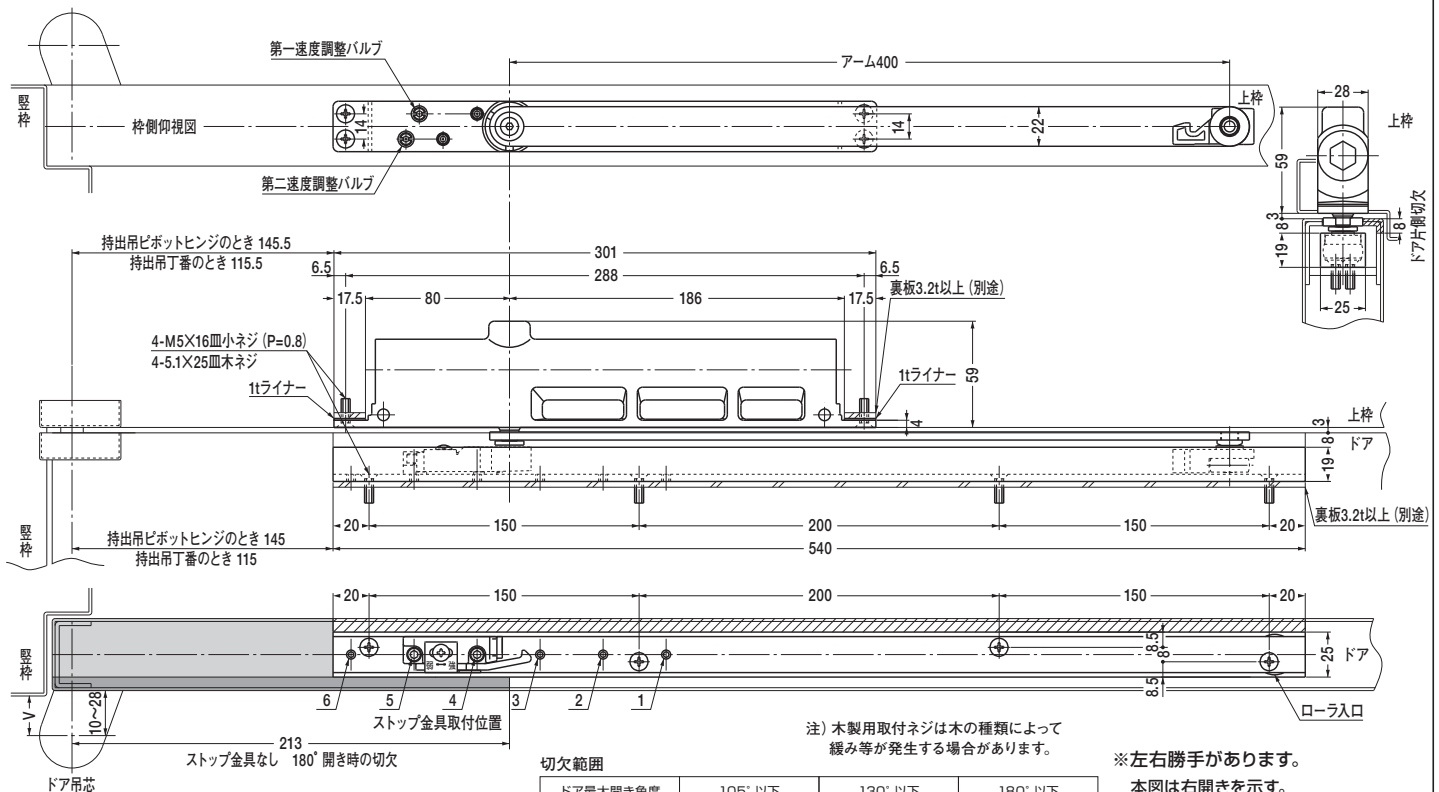
ストップなし	ストップ付
CL-1611	CLS-1611
CL-1612	CLS-1612



180° 開きの場合は丁番を使用して下さい。(V寸法19mm以上)

逆取付

(標準取付と製品は同一)



注) 木製用取付ネジは木の種類によって
緩み等が発生する場合があります。

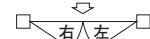
切欠範囲

ドア最大開き角度	105° 以下	130° 以下	180° 以下
持出吊 ビットヒンジ	ストップ金具付き	ストップ金具なし	ストップ金具なし
持出吊 丁番	ストップ金具付き	ストップ金具付き	ストップ金具なし

ストップ金具取付位置	1と2	2と3	3と4	4と5	5と6
持出吊 ビットヒンジ	80°	85°	90°	100°	105°
持出吊 丁番	90°	95°	105°	120°	130°

※左右勝手があります。

本図は右開きを示す。
左右勝手



ストップ付 } 取付位置は同じです。
ストップなし }
必ず戸当り(別途)を設置して下さい。

180° 開きの場合は丁番を使用して下さい。(V寸法19mm以上)